

# Game Report

開催場所：松前記念総合体育館

試合区分：第 26 回全九州大学バスケットボールリーグ戦

試合期日：2019 年 10 月 27 日(日)

試合時間：10：40～

CC：隈本 ゆみこ

U1：小川 隆三

U2：上山 正智

鹿屋体育大学	○ 85	16	—1st—	13	● 71	東海大学九州
		32	—2nd—	13		
		20	—3rd—	27		
		17	—4th—	18		

## 第 1 クォーター

鹿体大 # 2 3 大底のフックシュートで試合がスタート。序盤、両チーム激しいディフェンスを繰り広げ、拮抗した状況が続く。中盤以降、鹿体大は # 3 大串がゴール下で存在感を見せ始め、流れを引き寄せる。終盤、# 10 藤永の連続得点で完全に流れを引き寄せた鹿体大に対し、東海大は残り 2 : 38、タイムアウトを請求する。その後、東海大は # 7 田中が立て続けに 3 P シュートを沈め、一気に点差を縮める。両チーム一步も譲らぬ展開が続く、16 - 13 の鹿体大が一步リードで第 1 クォーターを終える。

## 第 2 クォーター

序盤から両チーム高確率でシュートを決め続け、第 1 クォータに引き続き、拮抗した展開が続く。追いつきたい東海大はオールコートプレスを仕掛ける。対する鹿体大はファストブレイクから連続して得点を重ねる。勢いの止まらない鹿体大に対し、東海大は残り 7 : 01、タイムアウトを請求する。その後、流れを引き寄せたい東海大は、# 0 岩崎が積極的にドライブを仕掛け、得点を重ねていくが鹿体大は # 2 4 田村、# 3 8 國松を中心に高確率で 3 P シュートを決め続け、48 - 26 と鹿体大が点差を広げ、第 2 クォーターを終える。

## 第 3 クォーター

第 3 クォーター開始早々、東海大は # 5 荒牧が 3 P シュートを決めて流れに乗り、# 7 田中、# 0 岩崎も立て続けに 3 P シュートを沈め、徐々に点差を縮めていく。対する鹿体大はシュートがなかなか決まらず、流れを取り戻すことが出来ない。中盤以降、鹿体大は激しいディフェンスから勢いづいて、# 10 藤永の 3 P シュートが決まり残り 1 : 47、東海大はたまたまタイムアウトを請求する。その後、東海大 # 7 田中が 3 P シュートを決めると、鹿体大 # 10 藤永が 3 P シュートを決め返すといった、点を取り合う展開となる。終了間際、東海大 # 0 岩崎がブザービートで 3 P シュートを決め、会場を沸かせるが、68 - 53 の鹿体大リードで第 3 クォーターを終える。

## 第 4 クォーター

序盤、鹿体大は # 3 大串がゴール下で存在感を見せ、得点を重ねていく。対する東海大も # 2 8 脇山の 3 P シュートと、積極的なオフェンスリバウンドで流れを渡さない。中盤以降、東海大は早い展開から 1 対 1 を仕掛け、得点を重ねていく。流れを取り戻したい鹿体大は、残り 3 : 03、タイムアウトを請求する。その後、鹿体大はメンバーを巧みに入れ替え、# 8 8 平安座が果敢に攻め相手のミスを誘い、じりじりと点差を広げていく。対する東海大は積極的にシュートを狙っていくも、最後までリードを許さなかった鹿体大が 85 - 71 で勝利を収めた。